

第2次静岡県循環器病対策推進計画の進行管理

(2) 第2次静岡県循環器病対策推進計画の中間評価方針



幸福度日本一の静岡県

第2次静岡県循環器病対策推進計画

第5章 計画の推進体制と評価

第4節 計画の評価・見直し

法第11条第4項において、県は、県における循環器病の予防並びに循環器病患者等に対する保健、医療及び福祉に係るサービスの提供に関する状況の変化、循環器病に関する研究の進展等を勘案し、並びに県における循環器病対策の効果に関する評価を踏まえ、少なくとも6年ごとに、この計画に検討を加え、必要があると認めるときには、これを変更するよう努めなければならないとされています。

県では、県循環器病対策推進協議会及び各部会を中心に、本計画の目標達成に向けて評価を行い、本評価を踏まえ、3年を目途に中間評価を行うとともに、2030年度からの次期計画を策定します。

その際、最新の知見を踏まえ、進捗管理について、PDCAサイクルに基づく改善を図り、施策に反映するよう努めてまいります。

第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方

中間評価について、全体目標と個別施策について、以下のとおり分析・評価を進めることとする。

あわせて、都道府県の循環器病対策の進捗状況の公表、好事例の横展開を推進する。

令和7年6月18日
厚生労働省
第14回循環器病対策推進協議会
資料1-1

① 全体目標について

- 2040年に向けた健康寿命の延伸の進捗状況の評価（令和6年度中に公表済）
- 2040年に向けた循環器病の男女別の年齢調整死亡率の減少の進捗状況の評価

② 個別施策について

- 第8次医療計画の策定指針で定めている指標例を基に、①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実、③循環器病の研究推進のそれぞれの項目において、重点的に評価する指標（コア指標）を選定し、メリハリを付けてわかりやすく分析・評価する。
- 各施策に関する関係課室・省庁等の取組状況の把握を行う。

③ 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の評価するため、都道府県ごとに評価可能な指標については、可能な限り測定・公表をしているところ、今後、都道府県の循環器病対策を見える化しながら、地域の実情に応じたより良い取組の横展開を進める。

今後の進め方

- コア指標については、中間評価前（令和7年度夏頃）の協議会で指標案を示し、議論を行うこととする。
- その他、必要な検討課題（「脳卒中・心臓病等総合支援センター」のあり方等）について、個別に議論を行うこととする。

中間評価のコア指標（脳卒中）

No	コア指標案（国計画）	対応する指標（県計画）
1	喫煙率	20歳以上の者の喫煙率
2	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数
3	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数
4	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数
5	特定健診受診者の収縮期血圧130mmHg以上の割合及び拡張期血圧80mmHgの割合	高血圧の指摘を受けた者のうち現在治療を受けていない者の割合
6	脳梗塞に対するt-PA療法による血栓溶解療法の実施件数	脳梗塞に対するt-PA療法による血栓溶解療法の実施件数（算定回数）
7	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施件数（算定回数）
8	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（算定回数）
9	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間
10	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合
11	脳血管疾患の年齢調整死亡率	脳卒中の年齢調整死亡率（人口10万人対）

中間評価のコア指標（心血管疾患）

No	コア指標案（国計画）	対応する指標（県計画）
1	喫煙率	20歳以上の者の喫煙率
2	心大血管疾患リハビリテーション科届出医療機関数	心大血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数
3	特定健診受診者の収縮期血圧130mmHg以上の割合及び拡張期血圧80mmHgの割合	高血圧の指摘を受けた者のうち現在治療を受けていない者の割合
4	PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合	PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通件数（算定回数）
5	入院心血管リハビリテーションの実施件数	入院心血管リハビリテーションの実施件数（算定回数）
6	外来心血管リハビリテーションの実施件数	外来心血管リハビリテーションの実施件数（算定回数）
7	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間
8	虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率	心血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万人対）

今後の循環器病対策推進協議会の検討スケジュール（案）

- 本日のコア指標の議論を踏まえて、令和8年春頃に基本計画の中間評価の骨子（案）の議論を進めたい。

	令和7年6月18日	令和7年10月17日	令和8年春頃	令和8年夏以降	
協議会	第14回 ○第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方について ○コア指標の選定について	第15回 ○コア指標の選定および今後の中間評価の進め方について ○脳卒中・心臓病等総合支援センターの在り方について	第16回 ○第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の骨子（案） ○脳卒中・心臓病等総合支援センター整備指針について ○循環器病DB等の取組状況について（国循からの報告）	第17回 ○第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価のとりまとめ	中間評価報告書及び概要 公表
		等	等		
総合支援委員会	第7回（令和7年9月4日） ・モデル事業の実績報告 ・整備指針の策定方針（案）等				

中間評価の方針案

以下のとおり中間評価を実施することとしてはどうか。

- ロジックモデルに従って指標の進捗状況の評価を行う。
- 令和8年度の中間評価に当たっては、指標の中から国のコア指標に対応する指標を重点指標として評価する。